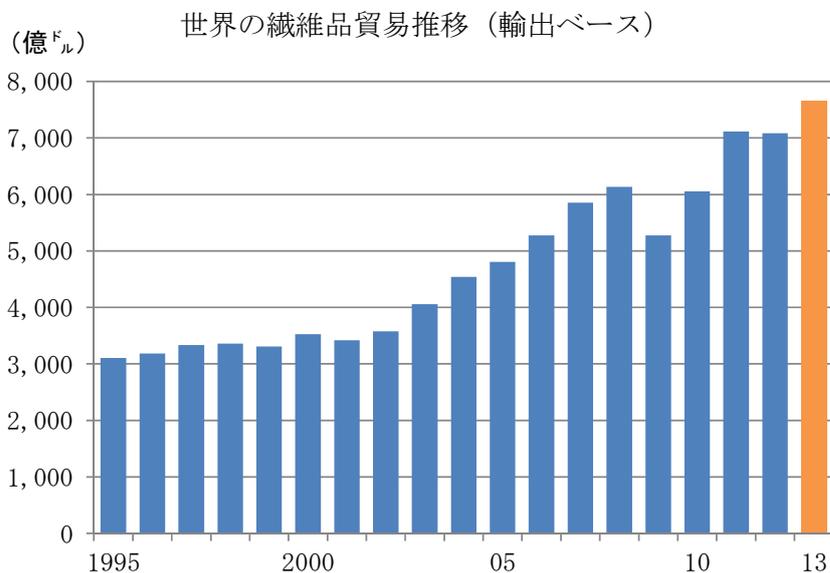


☆視 点

**主要国の繊維品貿易動向**

2013年の世界の繊維品貿易は、前年の落ち込みから回復傾向がみられる。2012年は、先進国を中心とした需要減から前年比微減(0.4%減)となり、リーマンショックの影響のあった2009年(14%減)以来、3年ぶりの前年実績割れとなったが、2013年は中国、インド、ベトナムなど好調な新興国の輸出が牽引する形で比較的堅調な伸びとなったと推定される。以下、輸出と輸入に分けて詳細をみしてみる。



(出所) WTO、2013年は推計

(注) EUの域内貿易、香港等の再輸出を含む。

**1. 主要国の繊維品輸出**

主要繊維品輸出国の動向は以下の通り。

中国：前年比11%増の2,849億ドルと前年の低い伸びから回復した。EU、米国等主力市場が堅調に推移したことに加え、ベトナム(前年比45%増)、ロシア(35%増)など新興国向けも大幅増となった。

韓国、台湾：韓国は2.1%増の159億ドル。EU、アセアン等FTAパートナー向け輸出が好調であった。一方、台湾は1.2%減の122億ドル、2年連続の減少となった。

タイ、インドネシア：タイは0.8%増の87億ドル、2012年は洪水等の影響で大幅減となったが回復は弱い。インドネシアは2.1%増の128億ドル、タイ同様前年の落ち込みからの回復は弱いものとなった。

ベトナム：19%増の179億ドルと大幅に増加した。「中国+1」として先進国向けが急増している。

インド：11.0%増の376億ドル。EUおよび米国向け繊維製品輸出が堅調であったことに加え、中国向け綿糸輸出が急拡大した。

バングラデシュ：6.3%増の212億ドルと堅調に推移した。労働安全問題、労働者のデモ頻発など各種問題を抱えているが、低コストやEU等からの特惠待遇もあり堅調に推移している。

トルコ：8.7%増の283億ドルと好調、全体の約6割を占めるEU向けが回復したことが牽引した。

EU（域外）：6.1%増の593億ドル、スイス、ロシア、米国など主力市場に加え、トルコ、中国等新興国向けが2桁増となった。

米国：0.9%増の279億ドルと、紡織品輸出の回復もあり微増となった。

日本：10.1%減の89億ドルと主要国では唯一の2桁減となった。但し、数量ベースでは1.4%増であり、為替（円安）の影響が大きい。

#### 世界主要国の繊維品輸出

(100万ドル、%)

	2010年	2011年	前年比	2012年	前年比	2013年	前年比
日本	8,943	10,186	13.9	9,887	-2.9	8,884	-10.1
中国	207,355	249,920	20.5	256,004	2.4	284,851	11.3
韓国	13,912	15,962	14.7	15,604	-2.2	15,939	2.1
台湾	11,812	13,233	12.0	12,335	-6.8	12,183	-1.2
タイ	8,854	9,509	7.4	8,590	-9.7	8,662	0.8
インドネシア	11,292	13,353	18.2	12,510	-6.3	12,771	2.1
ベトナム	11,172	14,028	25.6	15,035	7.2	17,946	19.4
インド	27,880	33,593	20.5	33,897	0.9	37,625	11.0
パキスタン	9,969	13,059	31.0	12,900	-1.2	13,300	3.1
バングラデシュ	14,855	19,214	29.3	19,948	3.8	21,212	6.3
トルコ	22,047	25,467	15.5	25,989	2.0	28,252	8.7
EU27（域外）	47,465	56,750	19.6	55,903	-1.5	59,314	6.1
米国	24,676	29,799	20.8	27,643	-7.2	27,890	0.9

(出所) 各国の貿易統計等から作成（次表も同様）

(注) ベトナム、バングラデシュは繊維製品のみ

## 2. 主要国の繊維品輸入

世界の繊維品貿易を輸入サイドからみると、日欧米中の4カ国地域で世界全体の過半を占めると推定される。

これらの国・地域の2013年の繊維品輸入をみると、EUは前年比4.7%増の1,265億ドル、景気回復もあって2012年の大きな落ち込み(12%減)から回復した。米国は3.7%増の1,138億ドルとEU同様に前年の減少(0.3%減)から回復した。一方、日本は1.5%減の426億ドルと減少したが、これは、為替が急激な円安となったことが大きく影響した(円ベースでは前年比20.7%増、数量ベースでは3.3%増)。また、中国は綿花を中心に繊維原料の輸入が大幅に減少したことで、1.1%減の414億ドルとなった。

主要仕出地別にみると、欧米日とも、中国が最大の輸入先であるが、そのシェアは前年に比べいずれも下落した。代わって、日本、米国ではベトナム、EUではバングラデシュのシェアが上昇している。

なお、輸入市場における中国シェアがピークであったのは、EUは2010年の41.6%(13年は4.0ポイント減)、米国は2010年の39.1%(13年は1.0ポイント減)、日本は2009年の77.9%(13年は7.5ポイント減)であり、2013年は先進国市場での中国シェア低下が進んだ年となった。また、欧米の近隣諸国からの輸入(米国ではメキシコ、EUではトルコ等)は、近年アジアからの輸入に代替される形で下落傾向であったが、2013年は下げ止まり又は増加に転じている。

中国の繊維品輸入は、綿花、化学繊維、綿糸など繊維原料～糸段階が依然として中心であり、インド、米国、オーストラリア等が上位輸入国である。但し、近年はFTA効果や中国企業の海外進出などもあって、アセアンからの製品輸入が急増、2013年は前年比33.2%増の35億ドル(08年比では3.3倍)となったことが注目される。

### 欧米日中の繊維品輸入

#### ①EU27カ国(域外輸入)

(100万ドル、%)

	2012年	2013年	前年比	シェア
世界計	120,793	126,499	4.7	100.0 -
中国	46,966	47,577	1.3	37.6 (▲1.3)
トルコ	15,830	17,081	7.9	13.5 (0.4)
バングラデシュ	11,201	12,853	14.8	10.2 (0.9)
インド	8,754	9,192	5.0	7.3 (0.0)
パキスタン	4,002	4,539	13.4	3.6 (0.3)

②米国

	2012年	2013年	前年比	シェア	
世界計	109,820	113,843	3.7	100.0	-
中国	42,021	43,324	3.1	38.1	(▲0.2)
ベトナム	7,510	8,598	14.5	7.6	(0.7)
インド	6,313	6,782	7.4	6.0	(0.2)
メキシコ	5,582	5,637	1.0	5.0	(▲0.1)
インドネシア	5,410	5,447	0.7	4.8	(▲0.1)

③日本

	2012年	2013年	前年比	シェア	
世界計	43,274	42,632	-1.5	100.0	-
中国	31,312	30,008	-4.2	70.4	(▲2.0)
ベトナム	2,512	2,846	13.3	6.7	(0.9)
インドネシア	1,279	1,411	10.3	3.3	(0.4)
イタリア	1,165	1,203	3.2	2.8	(0.1)
タイ	846	907	7.3	2.1	(0.2)

④中国

	2012年	2013年	前年比	シェア	
世界計	41,827	41,365	-1.1	100.0	-
インド	4,444	4,681	5.3	11.3	(0.7)
米国	5,019	3,874	-22.8	9.4	(▲2.6)
オーストラリア	3,843	3,677	-4.3	8.9	(▲0.3)
日本	3,971	3,585	-9.7	8.7	(▲0.8)
台湾	3,326	3,385	1.8	8.2	(0.2)
アセアン計	2,627	3,501	33.2	8.5	(2.2)

(注) シェアの右の ( ) は前年比ポイント増減

(担当：業務調査グループ 鍵山)